

平成30年度 清新地区まちづくり懇談会結果報告

- 1 日 時 平成30年10月25日(木)午後7時から午後8時47分まで
- 2 場 所 けやき会館2階大研修室
- 3 市側出席者 湯山副市長、小山中央区長、鈴木中央区副区長、田雑都市建設局長
石井企画部長、岩本経済部長
齋藤市民局長、樋口市民局次長
- 4 出席委員等 30人
- 5 傍聴者 6人
- 6 懇談会の要旨

テーマ1	相模原駅南側のまちづくりについて
概要	<p>広域交流拠点整備計画が平成28年8月に策定され、「さがみはら新都心」の形成に向け、橋本・相模原両駅周辺を一体的に考えるまちづくりの取組が始まった。地域住民にとっては大きな関心事であるとともに期待が大きいところである。</p> <p>そこで、相模総合補給廠の一部返還地を活用したまちづくりの取組状況並びに相模原駅南側のまちづくりについて懇談したい。</p>
課題事項1	相模原駅南側の整備の進捗状況と今後の予定について
概要	<p>相模総合補給廠の一部返還地、そして共同使用区域の整備計画の内容について改めて伺いたい。</p> <p>駅南側の地区に関しては「既存市街地のポテンシャルを生かした都市リノベーション」を予定するにとどまっている。</p>
市の取組等の説明	<p>相模原駅周辺地区においては、相模総合補給廠の一部返還地を生かした多様な交流機能を備えた新市街地の形成や共同使用区域のオープンスペースを活用したスポーツ・レクリエーション、あるいは広域防災拠点としてのまちづくりを検討している。その中で一部返還地については、広域商業機能や広域交流機能といった導入すべき機能の検討を行うとともに、駅周辺の交通ネットワークに関して暫定供用する南北道路・東西道路の整備を行ってきている。今後については、駅南北の回遊性向上策などの検討も行っていきたい。</p> <p>スポーツ・レクリエーションゾーンについては、今年度から土を平らにするための造成工事を今行っているところで、来年度以降の整備に向けて準備を進めている。(都市建設局)</p> <p>相模原駅周辺を市の中心的な商業地として形成する区域として、買い回り品を中心に、娯楽や飲食等を含めた商業機能を充実させるとともに、業務、文化、交流等の都市機能を複合的に備えた広域的な商業地の形成に取り組んでいる。(環境経済局)</p>
主な質疑等	
質問要旨 (提案者)	さがみ夢大通り、さんはげ通り、氷川通りを中心とする相模原駅南側のまちづくりについての市の方策について伺いたい。

回答	<p>相模原駅南側のエリアのまちづくり協定では、氷川通りやさんはず通りで建物を建築する場合には、1階部分に店舗または事業所を設けるように用途を商業系で要請しているほか、壁面後退などの地区内の地権者や商業者、事業者のまちづくりのルールを定め、調和のとれた魅力と活力あるまちづくりを目指している。（環境経済局）</p>
質問要旨	<p>宮下横山台線、宮上横山線、南北道路と夢大通り等を結ぶ道路の整備の今後の計画やＪＲ横浜線の高架化や地下化を含めた市の考えを伺いたい。</p>
回答	<p>宮下横山台線については、宮下交差点から町田市境までを6月に都市計画決定を行った。測量を行い、設計準備を進めている。</p> <p>宮上横山線については、用地の取得率が91%になっている。残りの用地取得を進めるとともに、京王線北側の69メートルの整備を行う。</p> <p>この2つの路線はともに市境に位置し、境川の橋梁設置と道路の整備スケジュールを東京都や町田市と連携し、早期完成に向けて取り組んでいる。</p> <p>ＪＲ横浜線の連続立体交差事業については、高架化あるいは地下化、いずれの方式も技術的には可能であることを確認した。事業効果が最大となる相模総合補給廠の全面返還等を見据えて、長期的な時間軸の中で検討を行っていく。現段階では、高架化・地下化の方式は決定していない。</p> <p>また、駅周辺アクセス性を高めるため、周辺道路との連携など広い視点での交通ネットワークの検討を行っている。</p> <p>利便性向上を早期に行うため、南北道路、東西道路の暫定供用を行ったが、南北道路を駅南口へ接続させることで更に利便性が高まると考えているが、歩行者、自転車の安全性の確保や周辺交差点への車両の集中、バス等の公共交通の定時制の確保など、様々な課題があり、関係機関と協議しながら、検討していきたい。（都市建設局）</p>
質問要旨	<p>橋本地区に計画されているリニア新駅と相模原駅南口の両駅の魅力ある一体的なまちづくりのために、アリオ橋本前を通るシャトルバスやバス路線の新設について、次期総合計画等を議論した中で要望があるが、市の考えを伺いたい。</p>
回答	<p>一体的なまちづくりについては、既存のバス路線を含め、両駅周辺の連携を深めていくことが重要と認識している。バス路線のあり方については、沿線の利用者の需要を見定め、まちづくりの動向と地域からの意見を踏まえ、バス事業者とともに検討を進めていくことが必要と考えている。（都市建設局）</p>
質問要旨	<p>現在の市役所庁舎は相模原駅から離れており、アクセスが不便である。相模総合補給廠の一部返還地に行政機能や文化施設等の交流機能を整備することについて市の考えを伺いたい。</p>
回答	<p>行政機能については、市民サービスの充実や効率的な行政サービスの提供など将来的なあり方を整理し、移転の有無も含め、市役所全庁的な取組の中で引き続き検討していきたい。</p> <p>文化施設等の交流機能については、人材や文化の交流拡大が図られ、産業振興をはじめとした総合的な都市力の向上につながるものと考えており、民間活力の導入なども含め、引き続き検討していきたい。（都市建設局）</p>

質問要旨	相模原駅周辺まちづくり推進連絡協議会の中で、「人が集いにぎわいのあるまち」がスローガンと聞いているが、そのためには具体的にどのような商業機能を置いていくのか。
回答	スローガンの実現に向け、現在、勉強会の開催等をしているところで、地域と行政の役割分担の基、効果的な取組を考えている。具体的な商業機能は、現時点で明確なものはないので、協議しながら詰めていきたい。（環境経済局）
質問要旨	南北道路の駅南口への接続について様々な課題があることは理解したが、いつごろを目標にしているのか教えてほしい。
回答	様々な課題があり、警察やバス事業者などとの調整を要することからも、時期を示すことは難しいことをご理解いただきたい。 協議の進捗に合わせて、地域には情報提供したいと考えている。 （都市建設局）
質問要旨	清新地区の次期総合計画検討会の中で、小原、アリオ経由で相模原駅南口と橋本駅をバス路線でつないでほしいという要望が出ている。 この路線は一度廃線になっており、バス事業者の採算性等も理解できるが、リニア等もできるので、そういう要望があることをお伝えしたい。
回答	相模原駅南側と橋本駅を結ぶ小原、アリオ経由のバス路線が、不採算路線ということで、平成15年に廃止となった経緯がある。 一方で、広域交流拠点は、相模原駅だけではなく、リニアの駅ができる橋本駅も含めて、2駅の連携をどう強めていくかを考える必要がある。 要望のバス路線は、今後の在り方の一つとして、沿線の利用者の需要を見定め、バス事業者とともに検討したい。（都市建設局）
質問要旨	J R横浜線の連続立体交差事業について、高架化・地下化の方式は決定していないとの回答について、相模総合補給廠の全面返還がなければ高架化・地下化はしないという理解でよいか。
回答	検討の際に、鉄道を3.7キロの区間で立体交差にすることを前提とした費用対効果が最大になるように、相模総合補給廠の全面返還を見据えて長期的な検討をしている状況である。（都市建設局）
質問要旨	バス路線について、新聞によれば、従来は路線変更や廃止がなかなかできなかったが、平成になって自由化されたことが裏目に出てしまっている地方がある。 お年寄りや子どもたち等交通弱者のことを考えて検討していただきたい。
回答	-（回答不要）

課題事項 2	小田急多摩線の延伸について
概要	平成28年4月の交通政策審議会答申において、鉄道ネットワークを充実する上で意義のあるプロジェクトであると位置づけられている。 延伸実現に向けた課題の解決方法について懇談したい。
市の取組等の説明	交通政策審議会答申において「意義ある路線」とされた一方で、収支採算性の確保や関係自治体による協調した検討が課題として示されている。 市では課題の解決に向け、町田市を含む周辺自治体をはじめ、学識経験者、小田急電鉄などで構成する「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」を設置し、検討を行っている。（都市建設局）
主な質疑等	
質問要旨 (提案者)	採算性を確保するための調査・研究は進んでいるのか。 いつごろまでの実現を目指すのか、小田急電鉄の考えを含めて伺いたい。 また、事業者や国、都・県、市における費用分担の考え方についてお伺いしたい。
回答	現在の検討においては、都市鉄道利便増進法に基づき、国と自治体と鉄道整備主体が3分の1ずつ費用を負担し、上下分離方式（施設は鉄道整備主体が持ち、運営を小田急電鉄が行う）による手法を前提として検討を進めている。 事業の実施時期あるいは本市の負担額については、収支採算性等の課題解決の後に、これらの関係機関での合意形成を図っていく中で決定するもので、今の時点では申し上げられない。 引き続き調査、検討を行っており、関係機関との連携を一層深め、一日も早い延伸の実現を目指したいと考えている。（都市建設局）
質問要旨	清新地区内に新駅構想があるのかどうか、現時点の状況について伺いたい
回答	過去の検討においては、町田市内2駅、相模原市内3駅の5駅整備案があったが、事業採算性が見込めず、現在の3駅（町田市内、相模原、上溝）整備を前提として検討している。 3駅整備であっても収支採算性が課題となっており、開業当初から5駅整備とすることは難しい状況であることをご理解いただきたい。（都市建設局）
質問要旨	小田急電鉄の戦略や方針などの方向性について伺いたい。
回答	小田急電鉄からは「小田急多摩線の延伸は地域の発展に資する事業であり、国の交通政策審議会の答申においても、その意義が認められたものと受け止めているが、一方で、収支採算性の課題が指摘されていることを踏まえ、各自治体とその他関係者ととともに、継続して課題解決に向けた検討、協議をしていく」との回答を受けている。 関係者会議には小田急電鉄も参画しており、小田急電鉄の意見も踏まえ、検討を深めているところである。 （都市建設局）

テーマ 2	神奈川医療少年院の跡地利用について
概要	<p>中央区小山 4 - 4 - 5 にある神奈川医療少年院が平成31年度に昭島市に移転することを聞いている。</p> <p>地域で草木の刈取り、清掃、芝ザクラの植樹など、周辺の防犯や美化活動に努めてきた経過があり、近隣の自治会としても、周辺の清掃活動や、神奈川医療少年院内の行事に参加するなど、地域になじんだ場所となっている。</p> <p>グラウンドを含む敷地面積は約 4 万平方メートルと聞いているが、清新地区にはこれほど広い場所はなく、自然を残したままこの跡地を利用したいと考えており、市としての考え等を聞き、跡地利用の可能性について懇談したい。</p>
課題事項 1 課題事項 2	市側の現状の認識と今後の考え等について 跡地利用の可能性について
概要	<p>移転することは承知しているが、跡地の利用方法についての情報が全くない。国の現在の方針と今後の予定、市の認識と今後の考え方について伺いたい。</p> <p>清新地区は、国道16号により地区が分かれているため、地域によっては地域コミュニティの場である公民館に行くには国道16号を渡らなければならない、不便を感じている。そこで、子どもから高齢者まで誰もが利用できる地域コミュニティの場やスポーツなどの活動の場として、神奈川医療少年院の施設やグラウンドなどを利用して地域に人の交流が生まれる場として生かしたいと考えるが、市の考えを伺いたい。</p>
市の取組等の説明	<p>神奈川医療少年院については、来年 4 月、東京都昭島市にできる国際法務総合センター内に移転が予定されていると発表されているが、跡地を国がどう活用していくかについては示されていない。</p> <p>仮に国による利活用が図られない場合は、未利用国有地管理処分方針に基づき、売却や貸付等の方針決定をするものと伺っている。その場合、県や市に活用意向の照会があり、市としては、各事業計画等に照らして活用の有無を判断していくことになる。</p> <p>現時点において、国の方向性が示されていない状況であり、当該跡地に係る検討は行っていない。今後、情報収集に努めながら、国の動向を注視してまいりたい。（企画財政局）</p>
主な質疑等	
質問要旨 (提案者)	要望になるが、地域として跡地を有効に利用したいという意向があることを、もう少し積極的に国に働きかけてもらうことはできないか
回答	地域からの声を踏まえ、検討等をする必要があると思っている。
質問要旨	<p>昭和28年に神奈川少年院が設置され、昭和53年に神奈川医療少年院となった際に、規模が縮小して不要となった官舎がそのままになり、市を經由して関東財務局に連絡して撤去してもらった経過がある。</p> <p>今回の移転後も跡地が放置されると、防犯や美化などの問題が生じるが、市としての方策について伺いたい。</p>

<p>回答</p>	<p>今後、跡地については、国による利活用や売却等の国の方針にもよるが、これまでに地域が周辺の清掃等の管理をしてきた経過も踏まえ、地域の安全・安心を確保することを、地域と市とが一緒に国へ働きかけをするような取組をしたい。 (企画財政局)</p>
<p>質問要旨</p>	<p>要望になるが、跡地が鉄板等で囲われて放置され、荒地となるような状況にならないようにしてもらいたい。 市には子育て支援の方針もある中、子どもが自然に親しむ場所が公園ぐらいしかなく、公園では野球やサッカーの練習をすることもできない。 跡地を市が購入やレンタルをすることが難しくても、例えば草を刈るなどして、敷地内で運動をできるようにするような使い方を検討してもらいたい。</p>
<p>回答</p>	<p>国の施設なので国がどのように動くかはわからないが、医療少年院を地域の施設として見ていて、地域として様々な関わりをしてきた視点からの思いがあることを含め、今後検討させていただきたいと思う。(企画財政局)</p>